

スポーツYAMATO

古賀2試合3安打 打撃の何かをつかんだ



試合前、先週から打撃好調という古賀に話を聞いたところ、「私、バッティングの何かをつかんだ気がするんです」と言った。続けて、「今日は、三遊間を狙ってヒットを打ちます」と言い切った。古賀は宣言通り、第1試合の1打席目に鮮やかな三遊間へのヒットを打って見せた。2試合目も2打席目に内野安打と、3打席目は先制点となるショート後方へのヒットを打ち、2試合で3安打の活躍。これまで古賀は守備には定評があり、ルーキーイヤールからショートのレギュラーを確保した。その守備力で何度もチームのピンチを救ってきたが、バッティングは中々結果が出なかった。本人がつかんだ何かは古賀本人しか分からない所謂、感覚的なものであるが、杉野監督は「古賀がこれまでブレずに愚直にやってきた証」と言った。古賀のソフトボールに対する真面目な姿勢と、たゆまぬ努力の現れがこれまで課題だったバッティングで新たな領域に達し、ヒットを打つコツをつかんだのだらう。また、この日、ドリムシトリンの大國監督の計らいで二遊間の勉強会が試合前に行われた。守備には自信のあった古賀もこの日の勉強は目から鱗だった様で、守備もま

た一段レベルアップした。この日、ショートへの深い打球を素早い動作で処理し、いきなり勉強の成果を発揮した。古賀の吸収力の早さには驚いたが、この日の様な守備ができれば、投手にとっても安心だろう。4節を前に古賀の成長はチームにとっても大きい。古賀にはつかんだ何かを絶対に手放さないように4節で発揮していただきたい。

斉藤も好投

2試合目の先発は左の工藤 2 斉藤。斉藤も5回を投げて無失点の好投を披露した。試合前、「調子は徐々に上がってきた」と斉藤の言葉通り、危ないない投球は4節に向けての好材料。大串に続き斉藤も準備万端だ。

